



# 岡本特許 ニュース

岡本特許事務所

〒541-0041 大阪市中央区北浜 3-2-1  
TEL06-6202-5858 FAX06-6229-1068

2013 MAY / 145号

## ★ 欧州米国共通特許分類 (CPC) ★

### (1) CPC の必要性

我々にとってなじみのある国際特許分類 (IPC/ International Patent Classification) の分類項目は約 7 万ありますが、それでも大規模特許庁のニーズに対して不十分であることから、これまで各庁は独自分類で対応していました (欧州特許庁 (EPO) の欧州特許分類 (ECLA / European Classification System)、米国特許商標庁 (USPTO) の米国特許分類 (USPC / United States Patent Classification)、日本特許庁 (JPO) の FI と F ターム)。しかし、これでは調査を行うときに国毎にそれぞれの分類を検討しなければならず、効率的な調査の妨げとなっていました。

このため、まず ECLA、USPC、および FI を IPC へ調和させる 3 極 (日米欧) 協調プロジェクトが始動し (2000 年～)、その後、5 極 (日米欧中韓) へ拡大し (2008 年～)、5 極共通ハイブリッド分類 (CHC) の作成に向けて検討が重ねられてきました。手始めに、EPO と USPTO の 2 極で共通分類 (CPC/ Cooperative Patent Classification) が 2013 年 1 月 1 日から運用されることになりました。将来的には CPC と日本の FI を統合した IPC を整備することが検討されています。

### (2) CPC の分類体系

CPC は ECLA を基礎にして作成されていますが、分類項目数は ECLA の約 14 万に対し、CPC は約 20 万とさらに細分化されています。ECLA との違いは、ECLA で採用されている / (スラッシュ) の後のアルファベットが最大 6 桁の数字に置き換わることです。

例 : (IPC)	A61N 1/36
(ECLA)	A61N 1/36V → (CPC) A61N 1/136046
(USPC)	607/60 → (CPC) A61N 1/136046

ご覧のとおり、USPC とはまったく異なりますが、USPTO のホームページで USPC と CPC の相互検索が利用可能になっています。「PATENTS」から「Patent Classification」を選択し、「Cooperative Patent Classification (CPC)」欄の 4 つ目のリンク「Classification Search Page」をクリックしてください。

具体的な CPC 分類、および定義の一部は CPC website にて公開されています。

### (3) 移行

EPO の Espacenet はすでに ECLA から CPC へ完全移行しています。USPTO は 2014 年末までを移行期間としています。US 公報への CPC の付与時期について、公開公報は本年 3 月 14 日以降から、登録公報は 5 月発行分頃からとなります。この移行期間中、米国の公開公報は USPC と CPC の両分類を、登録公報は USPC のみ、または USPC と CPC の両分類を付与する場合があります。過去に発行された特許 (EP、US) についても遡ってデータベース上で CPC が付与されます。

ただし、米国植物特許および米国デザイン特許については 2013 年以降も USPC が使われます。

なお、EPO、USPTO とともに CPC へ移行後も IPC の付与は停止せず、併用することになっています。したがって、IPC のみを用いて各国特許庁で共通の分類検索することは、今まで同様に可能です。